

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS J530

BIOS セットアップメニュー 一覧

インテル、およびIntelは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation
またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
電源管理 (→P.5)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN機能などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
終了 (→P.8)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
 - ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	Intel(R) Management Engine設定	Intel(R) ME セットアップ
		Intel(R) AMT Fast Call for Help
	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
終了	変更を保存して終了する (再起動)	
	変更を保存して終了する (電源OFF)	
	変更を保存せずに終了する (起動)	

情報メニュー

BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット3	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット4	1MB=1024 ² バイト換算
MACアドレス	
UUID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 2000/01/01～2099/12/31	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない
ドライブ0	
ドライブ0 □使用しない ■使用する	
タイプ	「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
型名	「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
容量	・1GB=1000 ³ バイト換算 ・「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
ドライブ1	
ドライブ1 □使用しない ■使用する	
ドライブ4	
ドライブ4 □使用しない ■使用する	
回転速度 □低速 □中速 ■高速	・対象の光学ドライブ搭載時のみ変更可能。それ以外は表示のみ。 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示
タイプ	・光学ドライブ搭載機種のみ表示 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示
型名	・光学ドライブ搭載機種のみ表示 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	・OSを読み込むデバイスの優先順位を設定します。^{注1} ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。
起動順位 #n ☐ Windows Boot Manager ☐ ハードディスクドライブ ☐ CD/DVD ドライブ ☐ ネットワーク起動 ☐ UEFI: [HDD デバイス名] ☐ UEFI: [CD/DVD デバイス名] ☐ UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] ☐ UEFI: IPv6 [LAN デバイス名]	・Windows 7 の場合、ご購入時は次のように設定されています。 起動順位 #1: ハードディスクドライブ 起動順位 #2: CD/DVD ドライブ 起動順位 #3: ネットワーク起動 ・Windows 8.1 の場合、ご購入時は次のように設定されています。 起動順位 #1: Windows Boot Manager 起動順位 #2: UEFI: [HDD デバイス名] 起動順位 #3: UEFI: [CD/DVD デバイス名] 起動順位 #4: UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] 起動順位 #5: UEFI: IPv6 [LAN デバイス名] ・「Windows Boot Manager」および「UEFI: [デバイス名]」の選択肢は、Windows 7 では表示されません。 ・お使いの状況によって、選択肢の表示順番が異なる場合があります。 ・「CD/DVD ドライブ」は CD/DVD デバイスを接続した場合に表示されます。 ・「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示されます。 ・UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定してください。 ・起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加されます。 ・UEFI アプリケーションが優先順位を変更することがあります。
互換性サポートモジュール ☐ 使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・「セキュアブート機能」が「使用しない」のとき設定可能 ・Windows 8.1 の場合「使用しない」、Windows 7 の場合「使用する」に設定されています。 ・本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が標準設定値に変更されます。必要に応じて起動順位を設定し直してください。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
高速起動 □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。
起動メニュー □使用しない ■使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	リムーバブルメディア（CD/DVDドライブやUSBメモリなど）からの起動設定
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	「使用しない」設定時は「FUJITSU」ロゴを表示
ディスプレイ出力の優先順位 ■PCIe,PCI,IGD □PCI,PCIe,IGD □内蔵ビデオ	左から順にプライマリディスプレイを検出します。
内蔵グラフィックス (IGD) □使用しない □使用する ■自動	「自動」…ディスプレイ出力の優先順位で拡張ビデオデバイスが優先されている場合は内蔵ビデオを使用できません。
起動時のNumLock設定 ■オン □オフ	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
エラー停止 ■全てのデバイス □キーボード以外 □なし	POSTエラー検出時に起動停止する／しないの設定 ※ 注2
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
マルチコア ■使用する □使用しない	対応CPU搭載時のみ表示
USBコントローラー □使用しない ■使用する □背面のみ	
内蔵USB3.0コントローラー □使用しない □Manual ■Smart Auto	・「USBコントローラー」が「使用する」時のみ設定可能 ・「Manual」…設定時はUSB2.0ポートをUSB2.0コントローラーに接続し、USB3.0ポートをUSB3.0コントローラーに接続 ・「Smart Auto」…設定時は全てのUSBポートをUSB3.0コントローラーに接続

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USBレガシーサポート □キーボード/マウス □使用しない ■使用する	「USBコントローラー」が「使用する」時のみ設定可能
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
ネットワークからの起動 ■PXE □使用しない	・「内蔵LANデバイス」が「使用する」時のみ設定可能 ・標準搭載のLANに対してのみ有効
SATAモード ■AHCI □IDE	
Native PCIeモード ■使用する □使用しない	
Intel(R) Management Engine設定	
Intel(R) MEセットアップ > Enter	再起動後にME設定メニューに入ります。
Intel(R) AMT Fast Call for Help > Enter	・再起動後に確認メッセージ表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止 ・対応CPU搭載時のみ表示
Intel(R) ME設定のクリア > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
SOLコンソールタイプ □VT-100+ ■VT-UTF8 □ANSI	
シリアルポート設定	
シリアルポート1 ■使用する □使用しない	
I/Oアドレス、割り込み番号 ■3F8/IRQ 4 □2F8/IRQ 3 □3E8/IRQ 4 □2E8/IRQ 3	「シリアルポート1」が「使用する」時のみ表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム監視	
Temperature	
CPU	CPUの現在の温度を表示
RISER	拡張カード取り付け金具に搭載されている温度センサーの、現在の温度を表示
SYSTEM	メインボードに搭載されている温度センサー (SYSTEM) の、現在の温度を表示
Fan	
CPU	・ CPUに取り付けられているファンの、現在の回転数 (rpm) を表示 ・ ファン停止時または未接続時はN/Aと表示
SYSTEM	・ 拡張カード取り付け金具に取り付けられているファンの、現在の回転数 (rpm) を表示 ・ ファン停止時または未接続時はN/Aと表示
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	

注1：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

注2：本設定で停止しないよう設定したデバイスのエラーでも、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。
ただし、「キーボード以外」でキーボードエラーを検出した場合は、POSTエラーは表示されず、イベントログにも記録されません。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
待機時の省電力 □使用しない □使用する (S5) ■使用する (S4-S5)	・ 「LANによるウェイクアップ」を「使用する」に設定した場合は、「使用しない」に設定されます。 ・ 別売のLANカード ^(注1) を取り付けた場合は、「使用しない」に設定されます。※注2 ・ ME BIOS ExtensionのMEセットアップメニューの設定によっては、本機能が無効になる場合があります。MEセットアップメニューについては、『製品ガイド』の「5.4.4 メニュー詳細」－「■「Intel(R) AMT Configuration」メニュー」をご覧ください。
AC通電再開時の動作 □電源ON □電源OFF □自動 ■使用しない	・ 設定変更は再起動後に有効 ・ 電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・ 自動…電源断発生時の状態による。起動中、スリープは「電源ON」シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注3
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注4 ※注5
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注6 ※注7
時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能
日付 00 ~ 31	・ 00…毎日指定時刻に起動 ・ 「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	

注1：本ワークステーションに対応している弊社純正品をお使いください。詳しくは、富士通製品情報ページ内にある「システム構成図」(<http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/product/syskou/>)をご覧ください。

注2：「使用する (S4-S5)」に設定する場合は、次の操作をしてください。

- 1 LANカードを取り外します。
『製品ガイド』の「3章 周辺機器」の「拡張カードを取り外す」をご覧ください。
- 2 「待機時の省電力」を「使用する (S4-S5)」に設定します。

注3：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。

- 注4：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。
- 注5：Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wake up on LANを有効にする」をご覧ください。
- 注6：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本製品の電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。
- 注7：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

セキュリティメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード ■使用しない ☐ 最初のみ ☐ 毎回	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
自動ウェイクアップ時 ■使用しない ☐ 使用する	・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定。 ・「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」時に設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
ハードディスクセキュリティ	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は設定不可。
ドライブ0用パスワード	設定状況を表示
ドライブ1用パスワード	設定状況を表示
ドライブ4用パスワード	設定状況を表示
ドライブ0用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ドライブ1用パスワード設定 > Enter	・対応ハードディスク搭載、かつ「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ドライブ4用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード入力 ☐ 使用しない ☒ 使用する	・再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・設定変更は再起動後に有効
現在のTPM状態	
TPM状態の変更 ■変更しない □有効かつ使用可 □無効かつ使用不可	・設定変更は再起動後に有効 ・「管理者用パスワード」設定時で、かつ、「セキュリティチップ」が「使用する」時のみ設定可能 ・セキュリティチップの状態によっては、表示されない項目がある
セキュリティチップのクリア > Enter	・クリアは再起動後に実行 ・「セキュリティチップ」が「使用する」時のみ表示 ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「現在のTPM状態」が「有効かつ使用可」の場合のみ選択可
セキュアブート設定	
セキュアブート	・設定状態を表示 ・Windows 8.1の場合「有効」、Windows 7の場合「無効」に設定されています。 ※注1 ※注2
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」が表示されます。
署名情報の状態	・設定状態を表示 ・「標準」または「カスタム」が表示されます。
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・「使用する」に設定した場合、「互換性サポートモジュール」は「使用しない」に設定されます。
署名情報のカスタマイズ > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
署名情報の初期化 > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	・対応CPU搭載時のみ表示 ・「Virtualization Technology」が「使用する」時のみ設定変更可能 ・「Virtualization Technology」を「使用しない」に変更すると初期値に戻る
Intel(R) TXT ■使用しない □使用する	・対応CPU搭載時のみ表示 ・「セキュリティチップ」、 「Virtualization Technology」、および「Intel(R) VT-d」の各項目が「使用する」時のみ設定変更可能 ・「Virtualization Technology」または「Intel(R) VT-d」を「使用しない」に変更すると初期値に戻る

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されます。

注2：Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【】 + 【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
変更を保存せずに終了する（起動）	※ 注
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・ 言語（Language） ・ システム時刻 ・ システム日付 ・ 互換性サポートモジュール ・ 高速起動 ・ 管理者用パスワード ・ ユーザー用パスワード ・ ハードディスクパスワード ・ セキュアブート機能

注：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。